

第3学年 国語科学習指導案

指導者 大友 亜紀子

1 単元名 ビデオレターで田びこのよさをしようかいしよう ～タビーとたびする田びこはっけい～

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「田彦のよさを他校の3年生に伝える」ことを位置付けた。低学年の言語活動例で示されている「経験の報告」を受け、中学年では「調べたことを報告する」ことが求められており、第3学年では「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと」(A話すこと・聞くこと)をねらいとしている。

伝えたい相手を意識して活動に取り組んでいくことは、単元を貫く言語活動の大きな原動力になると考える。例えば、低学年、保護者、地域の方々など、伝える相手が変われば、取り上げる内容も、構成も、言葉遣いも変わってくる。他校の児童に田彦のよさを伝えるためには、どこに目を付けて「よさ」とするのかを考えることが重要なポイントとなる。自分たちには当たり前と思っていることでも、他校からは「よさ」と感じことがあるかもしれない。あるいは、自分たちでは「よさ」と思っていることも他校では当たり前のことかもしれない。田彦小学区と他校の学区とを比べて、その違いを知ることから、どの「よさ」を取り上げるのがふさわしいかを検討する必要が出てくる。話題を決める段階で意見交流の場を設定することや図書資料やインターネットを活用するなど、多様な言語活動を組み入れることが可能であると考える。

この単元を通した話し手の活動は、伝えたい相手を意識した話し方や言葉遣いを考えながら、伝えたい中心を明確にし、具体的な事例を挙げて説明を組み立てる事が考えられる。聞き手の立場からは、その内容や説明の仕方の分かりやすさなどについて聞き、他校の児童の興味・関心や必要感に応じたものにするための工夫をアドバイスしていくことが考えられる。

3 単元について

(1)児童観

本学級の児童は、本校で毎朝取り組んでいる詩の暗唱の時間を大変楽しみにしている。クラスの友達に届く声量を意識して暗唱に取り組んでおり、国語の授業の始めには、必ず数名が、全員の前で一人で暗唱することにチャレンジしている。1学期には「よい聞き手になろう」で話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりする学習を行った。話し手の顔を見て、相づちを打ちながら話を聞くことは上手になってきているが、スピーチを聞いて「よく質問する」と答えた児童は*%と少ない。内容についても的外れな質問や、深まりのない表面的な言葉のやりとりに終始する傾向がある。一方、話し手としては、自分の日常生活から話したい話題を決め、スピーチをすることについては楽しんで取り組む姿が見られる。しかし、聞き手の顔を見たり、反応を確かめたりしながら話すことには課題が見られ、スピーチ原稿を「読む」段階である。

「ありの行列」で段落について学び、「気になる記号」では「はじめ・中・終わり」の構成で文章を書くことを学んできた。しかし、書くときの構成力が話すことに生かされず、筋道を立てて話すことについては、不十分な児童が多い。また、立場を明確にしたり、理由を付けたり等の条件がつくと、話すことに戸惑いを見せる児童が増える。書くことについての分析により、音や様子を表す言葉を適切に使って文を書くことができる児童は半数を超える事が分かる。しかし、日頃の日記や作文の中では言葉を選んでよりよいものにしていくこうとする意識が低い。語彙が少なく、伝えたいことがあっても、なんと言ってよいのか、どう書いたらよいのか分からぬという児童が多い。読書や辞書引きでたくさんの中の言葉に出会っているのに、なかなか自分のものにならない現状がある。

1分間スピーチ原稿の分析 (第3学年*組 *人)

平成*年第*学期実施

- はじめ・中・終わりの組み立てで話すことができる。

4月 「3年生になってがんばりたいこと」：*人

5月 「じぶんの好きなこと・むちゅうになっていること教えます」：*人

6月 「いなかと都会、住むならどっち？」：*人

「聞くこと」についての意識調査 (第3学年*組 *人)

平成*年*月*日実施

- 友だちのスピーチを聞いて、進んで質問をしたり感想を言ったりしている。

はい：*人

いいえ：*人

「書くこと」についての分析 (第3学年*組 *人)

平成*年*月*日実施

- 音や様子を表す言葉（「ふわふわ」「ゴロゴロ」）を使って文を作る。

適切な文が作れる：*人

・ふうせんがふわふわと空にうかぶ。

・ソファーにすわったら、ふわふわして気持ちがよかったです。

・ゴロゴロとネコがあまえる。

・ふとんの上でゴロゴロする。

- | |
|---|
| <p>文が作れない：＊人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわしたわたあめ ・ゴロゴロ光っているかみなり <p>適切な文が作れない：＊人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲がふわふわとんでいる。 <p>無答：＊人</p> |
|---|

(2) 教材観

本単元では、話す相手にふさわしい話題を見付け、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話すこと学到習する。これは総合的な学習の時間でのひたちなか市についての学習を、国語科の話すこと・聞くことの学習と関連させて行うものである。今まで総合的な学習の時間を利用して調べた田彦のよさについて、ビデオレターにまとめ、他校の3年生を見てもらう。市内の全く違う地域に住む3年生に自分たちの住む地域のよさを伝えることで、相手意識と目的意識をしっかりとともたせることができる教材であると考える。

同じ話題でも、相手によって取り上げることが違ってくるため、「田彦八景」を選ぶ際の話合いでは、他の地域と比較して違いを見付け、相手を思いながら話題を選んでいく力が必要である。「4人グループでの話合いを学ぶこと」と、「相手に応じた話題設定、構成、言葉遣いなどを話合いで学ぶこと」の2つの「話合い」の力を育成するのに適した教材であると考える。

(3) 指導観

「田彦八景」については、史跡・名所など、目に見える景色にこだわらず、心で感じる美しさも「八景」の一つと捉え、話合いに臨めるようにしたい。

話すこと・聞くことの力を付けるために、まずは日常的な取り組みとして、一人一人が自分だけの「言葉ノート」を作り、語彙を増やしていくようにしたい。そこで、「すてきだなあ」「使ってみたいなあ」と感じた言葉と出会ったときに、その言葉を書きとめておくようとする。気持ち、景色、色、音等、項目の立て方次第で、様々な言葉集めができる。話すとき、書くとき、そのノートの言葉を見返して、意識的に使うようにしていくと、次第に子供たちの言葉の世界も広がってくるのではないかと考える。本時では、「伝えたいことの中心」と「説得力のあるものにするための理由・事例」とを、言葉ノートに集めた「よさを紹介する言葉」で結び付けていきたい。一つのことを表現するときに、どの言葉が一番うまく伝えられるか言葉を選ぶ楽しみや自分が見付けた言葉に相手がどう反応するか、想像する楽しみを味わわせたい。また、よりよい表現で筋道を立てて話すと、相手によく伝わることを体験させたい。

2学期に入つてから、司会を決め、進行に沿つて話合いをする学習を進めている。これまで学習してきた、よりよい「聞き手」になるために大切な「目線」や「相づち」を継続しながら、4人グループの話合いでも生かしていくようにしたい。授業で学んだ言語活動のポイントは「ナビカード」にまとめ、「言葉ノート」に貼っておき、いつでも手にとつて確かめられるようにしておく。また、記録が難しい音声言語であるため、感覚的なやり取りにならないよう、ホワイトボードでの可視化を図りながら話合いを進めていきたい。思考・判断を伴つた言葉のやり取りをしていく有効な方法と考える。ホワイトボードを使った話合い活動は、算数や社会・総合的な学習の時間など、他の授業でも積極的に活用し、言葉の力を高める一助としたい。

さらに、学習計画を子供たちと共に作ることを大切にしたい。学習者自身が何のために、何を学んでいるのか、ということをきちんと認識することができるようにならう。モデルを提示することで、目指す方向と見通しをしっかりとつまつとができるようにならう。発表の練習では、録音や録画の機器活用をしながら、自分の発表を客観的に評価し、改善することができるようにならう。

ビデオレターの完成だけを目的とするのではなく、「理由や事例」を挙げて話すことの効果や、「発表メモ」の有用性を学び、使えるようにしていきたい。

4 単元の目標

国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひたちなか市の「八景」に興味をもち、「田彦八景」のビデオレター作りに意欲的に取り組もうとする。
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手や目的に応じて話題を選び、その理由や事例を挙げながら筋道を立て、分かりやすく話をすることができる。 [(1) 一イ]
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉ノートに「よさを紹介する言葉」を集め、自分の表現に生かすことができる。 [(1) 一イ(オ)]

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 他校の3年生に自分たちの学区のよさを伝えるために、意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話している。 より効果的に伝えるための方法を考え、話している。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現したり理解したりするために必要な語句を増やし、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。

6 指導計画(12時間扱い)

次	主な学習活動	主な評価
1	<p>1 社会科や総合的な学習の時間との関連から「八景」について関心をもち、「田彦八景」をビデオレターにして発信するという見通しをもつ。</p> <p>2 「田彦八景」を湊一小の3年生に紹介するための学習計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「八景」に興味をもち、「田彦八景」のビデオレター作りに意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度) ビデオレター作りの見通しをもって学習計画を立てようとしている。(関心・意欲・態度)
2	<p>3 「田彦八景」について話し合い、自分の紹介したいことを選ぶ。</p> <p>①体育館完成 ②G1タワー ③大島公園（白鳥） ④ゆるキャラ（タビー、タビ子） ⑤5色対抗の運動会 ⑥あいさつ運動 ⑦ふれあい班→60班→児童数 ⑧おいしい給食 など</p> <p>4 紹介で話すべき内容と構成について考える。</p> <p>5 「言葉ノート」に「よさを紹介する言葉」集めをし、自分の紹介する「八景」に使いたい言葉を考える。</p> <p>6 「おすすめポイント」にぴったりの紹介の言葉を探す。(本時)</p> <p>7 紹介したいことについて情報を集め、「おすすめポイント」のよさを理由や事例を挙げて詳しく説明する。</p> <p>8 グループでの発表内容の組み立てを検討する。</p> <p>9 自分が担当する部分の発表メモを作る。</p> <p>10 発表メモを推敲する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手が知りたいと思う内容であるかどうか、という視点で話合いをしている。(話す・聞く能力) 基本的な説明の筋道に沿って話をするこどを意識している。(言語についての知識・理解・技能) 「よさを紹介する言葉」という視点から言葉集めをしている。(言語についての知識・理解・技能) 伝えたい内容の中心が聞き手に分かりやすく伝わるような言葉を選んで話している。(話す・聞く能力) 理由・事例などの説明のポイントを落とさずに説明している。(話す・聞く能力) 発表の順番や構成について考えている。(話す・聞く能力) 伝えたい内容が聞き手に分かりやすく伝わるようなメモを作成している。(言語についての知識・理解・技能) 発表メモをもとにした説明が、相手に分かりやすく伝わるものになっているか再検討している。(話す・聞く能力)

3	<p>11 練習</p> <p>12 ビデオレターにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい説明のポイントに照らし合わせながら話したり聞いたりし、アドバイスしている。 (話す・聞く能力) ・自分の説明の仕方や聞き方について自覚的に振り返っている。 (話す・聞く能力)
---	-----------------------------------	---

7 本時の学習

(1) 目標

おすすめポイントにぴったりの「紹介の言葉」を探すことを通して、理由を明確にしながら、伝えたいことの中心を話すことができる。 (話すこと・聞くこと)

(2) 準備・資料

学習計画表・言葉ノート・国語辞書・田彦八景の写真・モデルスピーチ・ナビカード
ガイドブックコーナー・アドバイザーコーナー・資料コーナー・図書コーナー
ホワイトボード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点 ◎テーマに迫る手立て 評 評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>おすすめポイントにぴったりの「しようかいの言葉」をさがそう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の3年生を引き付けるための紹介の言葉を言葉ノートから探したり、グループの友達と話し合ったりすることを確認する。
<p>2 教師のモデルスピーチにより、効果的な紹介の言葉について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>バットモデル 海浜公園のネモフィラ畑はきれいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>グッドモデル 海浜公園のネモフィラ畑は青空を散歩しているようです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールとなる紹介のイメージをつかむことができるようとする。 ・バットモデルとグッドモデルを同時に示し、比較して良さを実感できるようとする。 ・①音声言語として聞いたときの難しさ、②言葉遣い、③聞き手を引き込む表現に着目できるようとする。 ・紹介する場所とおすすめポイントとをつなげただけでは、魅力を伝える紹介にならないことに気付かせたい。
<p>3 グループで説明する八景について、「おすすめポイント」にぴったりの紹介の言葉を考える。</p> <p>G1タワー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で一番高い ・雲の上にいるような気分になれる <p>運動会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5色対抗で迫力満点 ・エキサイティングな応援合戦 <p>体育館完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなかで一番の広さ ・ソーラーパワーでしぜんにやさしい <p>大島公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鳥が訪れる ・のんびりとした気分になれる <p>ゆるキャラ (タビー, タビ子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなのハートをキャッチ ・まるで家族みたい <p>JR車両センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めずらしい電車が見られるフォトスポット <p>児童数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか市で一番 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉ノートに集めた言葉の中に、紹介にふさわしい言葉がないか探すよう助言する。 ・箇条書きで紹介を考えるよう助言する。 <p>◎伝えたい理由をはっきりさせながら、説明と紹介の違いを意識して言葉を考えていくよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手が知りたいと思う内容であるかどうかという視点をもつよう助言する。 ・なかなか紹介の言葉が見つけられない児童には、ガイドブックコーナー・アドバイザーコーナー・資料コーナー・図書コーナー・言葉ノートコーナーなどを設置しておき、いつでも調べたり相談したりすることができるようとする。 <p>◎ホワイトボードを使って考えを交流し、グループでの話合いを目に見える形でまとめようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での役割分担は途中で変え、誰もが進行の役割を体験できるよう支援する。 ・話合いを深めるため、ナビカードを活用するよう助言する。 <p>評 よさを紹介する言葉を使って、理由を明確にしながら伝えたいことの中心を話し</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・友だち100人のゆめがかなう ・ふれあい班は60班 <p>おいしい給食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日で一番楽しみな時間 ・3時間目は教室がいいにおいでいっぱい <p>4 「聞いて聞いて」タイムで、各グループのおすすめポイントについて交流する。</p> <p>①グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の「言葉ノート」にこんな言葉があるけれど、使えないかな。 ・こちらの言葉の方がぴったりではないですか？ <p>②全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○グループのしょうかいの◇◇という言葉がぴったりでよかったです。 <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○というアドバイスをもらえてよかったです。 ・○○グループの◇◇という言葉がとてもすてきだったので、いつか自分でも使ってみたい。 	<p>ている。 [話・聞] (ノート・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よさを紹介する言葉が「おすすめポイント」と合っているか、伝えたいことの中心がずれていないか、という視点をもって聞くよう助言する。 ・グループを半分に分け、各グループの紹介の言葉を自由に見て回るようにする。 ・グループに残ったメンバーは、他のグループとの交流で、ホワイトボードを声に出し、音声で伝えるようにする。 ・印象に残ったグループの紹介の言葉について全体で感想を交流する。 <p>・学習計画の振り返りに、今日の学習を通して身に付いたこと、友達の表現のよさなどを書くようにする。</p> <p>・次時は、おすすめポイントをさらに詳しく紹介する活動をすることを確かめる。</p>
--	--